

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名：児童発達支援センターどれみ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	意見・工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13				・活動により部屋を使い分けている。子どもによっては、個別での対応が必要な時もあり、必要なスペースはある。	なし	
	2 職員の配置数は適切である	12		1		・発達年齢によって2クラスに分けており、勤務状況などにより、両チームを担当する職員がいる。	情報共有などができるように朝はクラス合同での打ち合わせを実施している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12		1		・子ども達の発達を考慮して、Aチームには担当職員を示し、靴箱にもマークを付けてわかりやすくしている。 ・発達年齢に応じて過ごす空間を分けたり、食事・活動などする部屋など固定化している。	なし	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11			2	・エアコンや加湿器を使用して、快適な気温湿度を保つようになっている。活動に合わせて、部屋を移動している。	・同じ設定が続いた場合、その設定を移動させた時、ゴミやほこり等が溜まっていることがあるため、大きな設備品が置いてある際には気を付けて掃除を行う。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		3	1	・朝の打ち合わせ時に、目標を決めて周知してもらい、療育後には振り返りの時間を必ず持っている。 ・ヒヤリハットなどを利用して業務改善に活用している。	・勤務都合上、広くという点では、改善の必要があり、定期で実施する会議日などで工夫を図る。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			1	2	・以前に保護者から頂いたご意見に対して、改善する努力したところを評価して頂けた。	・今後も掃除をして清潔にすることを心掛けている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			1	4	・毎年必ず実施しており、その結果を受けて職員で話し合いを実施している。	なし
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		1	5	・コロナウイルスの影響により、今年は未実施。 ・コロナ禍で外部からの評価など受けづらい状況と感ずる。	なし
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13					・臨床心理士からの講義と保育士研修を月に2回実施。	・研修を受けた内容をその場で終わらせず、療育に繋げることが出来るように、職員間でも話し合いができる機会をもつ。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12			1	・新規契約時は勿論、年度始めに保護者から、児童発達支援への希望や要望を聞き取った上で、計画書の作成をしている。	なし	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			1	4	・新規契約時や継続契約時に同様のアセスメントツールを使用して、聞き取りをしている。	なし
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			1	2	・子どもの発達に合わせ、その先を見越した支援方法を記入している。	なし
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			4		・個別支援・モニタリング会議が終了したら、療育に入る職員全体に支援目標(短期・長期)を周知している。療育に反映させていく。	・会議に参加できていないと、どのような話し合いで目標が変更になったのかが、記録だけではわからない部分がある。具体的に伝達する方法について課題がある。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9			3	1	・立案する職員は限られている。立案された案をもとにチームで会議をもって周知している。	・多くの職員が保育案の作成に関わる事が出来るように、職員育成をしていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12				1	・昨年までの活動を参考にしながらも、固定化しないように配慮した。・子どもたちの発達に必要な活動は、毎年繰り返し行っている。	・今後も、子どもたちの発達に必要な活動は毎年繰り返し行う予定である。職員が繰り返し行う事の大切さを理解しておく必要がある。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	13					・子どもの状況に合わせて、個別と集でのクラス編成を実施し、都度その様子を個別支援計画書にも反映させている。	・作成に従事できる職員が少ないため職員を育成していく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13					・療育前に、療育に関わる職員全体で打ち合わせをしている。	・送迎に出る職員は、打ち合わせに参加することが出来ないため、当日の情報を参加したものが伝えている。すべて伝えることも難しいので工夫が必要である。

関係機関や保護者との連携	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12		1		・支援終了後の振り返りの場を持ち、気付きや保護者の様子、ヒヤリハットなどについても情報共有をしている。	・ヒヤリハットについても情報共有すると共に、会議日などに詳細を検討してヒヤリハットとなった内容について減らす工夫を続ける。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12		1		・記録の記入は毎日している。個別支援計画書を作成する時に、子の発達状態を把握するために使えるようにしている。	・客観性をもって記入をしたり、的確な表現で記すことが難しく時間をかけて記入できるように職員育成をしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12		1		・モニタリングを行い、相談支援事業や保育所等訪問支援事業と、子どもや家族の情報を擦り合わせ見直して作成している。	・計画書を作成できる職員の育成が課題となっている。今後の職員育成計画の中にモニタリングや計画書作成を担うことができる職員を育成していく。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12		1		・子どもの情報をわかりやすく伝えられるように場合によっては複数名で参加している。	なし
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13				・子ども達の「育ち」を守るための支援や保護者の支援を行うために、市の母子保健やセンターと協同して医療機関などにつなぐなどしている。	なし
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	12				無回答:1 現在専門職の個別訓練のみで関わっている。ライフステージの変化によって医療機関以外の機関への連携もおこなっていく予定である。	なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11		1		必要に応じて現在は保護者を介して連絡を取っている状態である。ライフステージの変化によっては直接的に連携できるような体制を整えてはいる。	なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11		2		・移行支援ではないが、情報共有と相互理解を保育所訪問事業からも必要に応じて図っている。	なし
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12		1		・保育所等訪問支援や相談支援事業と連携して行っている。	なし
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11		1		無回答:1 ・コロナウイルスの影響があり、回数は多くないが、他所のセンターを職員が見学などして研修の機会をもっている。	なし
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	並行通園のため該当なし						
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		1	5	・事業所としての参加している。	なし	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11		1	1	・職員が一部保護者と子どもの状況について伝え合い共通理解を持っている。	・療育に関わる全職員が保護者と伝え合うこと、共通理解を持てるには至っておらず、課題として話し合いの機会を持つなどして解消に努めたい。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10		1	2	・マザーズミーティングの機会を使って保護者向けのアンガーマネジメントを実施している。	なし	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11			1	無回答:1 事業所として初めての利用の際などは特に丁寧に説明している。	なし
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11			2	・計画書をお渡しする際、説明させて頂いている。	なし
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13				・できるだけ保護者や子供の様子を見て決めている。 ・定期的ではないが、必要に応じて行っている。	・保護者から相談があった際にはその内容によっては児童発達支援のみでは対応できないため、関係機関に繋いだりする調整を随時行っているが、調整ができる職員がまだ限ら
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12			1	・コロナウイルスの影響により、マザーズミーティングの開催が1回のみとなった。	なし
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12				無回答:1 迅速に対応することを大切に、今後も、報告をスムーズに上げる仕組みを作っていく。	なし
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13				・どれみ通信を月1回発行している。	・保護者の子育てに役立つ情報やほっとできるような記事を掲載できるように今後も工夫していきます。

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12		1		・通信やブログ等に掲載する時には、保護者の了解を必ず頂くようにしています。	・年度初めには、写真の取り扱いについて聞き取りをして、丁寧確実に対応していく。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12			1	・子どもに対しては理解につながるように支援する。保護者に対しては、その方の取り組みやすい方法を選んで対応しています。 ・場合によってSTに相談をしています。	なし	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	2	1	3	・例年は実施出来ているが、本年度はコロナウイルスの影響により未実施。	・例年会場を借りての作品展の開催をしている。コロナ対応が長引くようであれば、自事業所での開催を工夫するなど、開催に向けて調整が必要である。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12			1	・各マニュアルを参考に、事業所内で取り組みを実施している。 ・防犯については名張市子どもセンターでの取り組みがコロナ対応で今年度は実施できなかった。	なし	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13				・必要な災害(火災・地震・土砂災害など)を考えて想定して訓練を実施している。	なし	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11			1	1	・新規契約時に聞き取りをしている。 ・子どもの様子の変化した際にも都度聞き取りをしている。	・確認した上で、利用日・送迎について等、保護者と話し合いながら進めていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13					・法人の栄養課と給食のメニューを決める際に当該事業所のSTとが連携を取り、利用児の対応をする。 ・提供される際には保護者・管理者含めメニューを確認している。	なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13					・事故防止委員が、会議時に統計結果を伝え、それをもとに対応を検討する会議を持っている。	ヒヤリハットを出すことの意味や原因を把握することや同じようなヒヤリハットがあがらないような、現場で具体的な方法を見つけ出す工夫が必要である。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13					・毎月、権利擁護委員から虐待防止についての冊子の読み合わせをしている。	・虐待防止マニュアルの読み合わせなどを実施する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		1		5	・身体拘束が必要になるような子供は来ていない。	・わからないとする職員がいることから、現在は該当する子どもはいないが、「身体拘束」とはどのようなことが当てはまるのかを理解する機会を設ける必要がある。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 : 児童発達支援センターどれみ

保護者等数(児童数)34 回収数 22 割合 65%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22				<ul style="list-style-type: none"> ・広々としていて良い。 ・そう思います。子どもがいつも楽しそうです。 ・走り回れるほどのスペースがあり、うれしいです。 	令和2年度10月よりA、Bチームに分かれて活動をする事となり、活動によって使用する部屋を工夫することにより、スペースの確保をしています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2			<ul style="list-style-type: none"> ・安心して通園させられます。 ・手厚くして頂いていると感じます。 ・一人一人しっかりと見てくださり有難いです。 	ご心配をおかけして申し訳ありません。今後も、職員配置、及び、育成も含め研鑽していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19				<ul style="list-style-type: none"> ・とても良い空間だと思う。 ・躓きそうな段差は普段見当たりません。 	気候に合わせて生活空間から季節を感じて頂けるように工夫しております。季節を感じて頂くことも、支援の軸の1つです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	2			<ul style="list-style-type: none"> ・水回りがきれいで助かります。 ・とても楽しそうに通っています。 	
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	20	1			<ul style="list-style-type: none"> ・分析されているのか分からない。 ・細かく計画を立てて下さい。 	作成日から時間をおいて説明させていただくこともあり、内容に違和感を感じていただいているかと思えます。作成し

適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・十分にさせて頂いていると思う。 ・保育所や病院等の情報も併せてくださり感謝しています。 	<p>ましたら迅速に説明させていただきように改善していきます。</p> <p>また、短期・長期目標のご説明や療育の内容も含め子どもさんに必要なことを同時にお伝えできるようにいたします。</p>
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・行われているとは思いますが、どのような計画なのか分からない。 ・「できるようになった！」という項目を増やしていただきます。 	<p>毎月保育内容は検討されています。各子どもさんの発達段階において活動への参加状況等を踏まえ、少し先を予測しながら設定を工夫しています。また、活動内容それぞれにおいての目標や子どもさんそれぞれに対してのねらいをしっかりと持ちしえんにあたっております。</p>
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	15	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月かわいい絵など感心している。 ・子どもが慣れるように少しずつ変化をつけて発達を促してくれているように感じています。 ・毎回よく聞き取ってくれます。 	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	該当なし(並行通園児・就園年齢に達していない利用児の利用のため)				
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回丁寧にさせて頂いている。 ・行われているとは思いますが、計画表が年に1回より半年に1回などの見直しが必要ではないと思う。 ・入所の際に、丁寧な説明があった。 ・時間をとって丁寧に説明していただきます。 	<p>今後も丁寧にご案内できるよう心がけていきます。</p>

保護者へ	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	21	1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回丁寧にしている。 ・行われているとは思いますが、計画表が年に1回より半年に1回などの見直しが必要ではないと思う。 丁寧に最初の項目から聞き取りをしてくれます。 	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	15	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答1 ・小さいことでも相談にのって頂けたり、助言してくれたり、とても有難く思っている。 ・毎回協力的でいてくれます。 	新型コロナウイルス感染拡大防止のためにマザーズミーティングや母子通園の開催が難しく残念ですが、日々の療育やセラピー時を今まで以上大切に、繋がりを絶やさぬよう努力いたします。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	3		<ul style="list-style-type: none"> ・小さいことでも相談にのって頂けたり、助言してくれたり、とても有難く思っている。 ・「こんなことができるようになった」と一緒に喜んで頂いてとてもありがたいです。 ・いつも相談にのって頂いています。 	A. Bチームに分かれて支援が始まる事に、ご不安を抱かれた方もいらっしゃるかと思います。2つのチームに分かれることにより、少人数になり、今まで以上に子どもさんの様子をしっかりと見ていくことに努め、保護者の方と、子どもさんの育ちを共有していけるように努力していきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21			<ul style="list-style-type: none"> ・小さいことでも相談にのって頂けたり、助言してくれたり、とても有難く思っている。 ・セラピーなど、その都度活動内容を報告して下さるため、子供の様子が良く分かって良い。 ・教室中や教室後にお話を聞いてくださったりしています。 	

の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	2		<ul style="list-style-type: none"> ・無回答1 ・なかなか参加することが出来ていないが、日程が合えば参加したいと思います。 ・マザーズミーティングを開いてくれているので保護者同士仲良くなることができました。 ・第3週目の参観等でお顔を合わせさせてもらっています。 ・あることは知っているが、参加はしていない。 	コロナ禍の中での開催は難しい部分が多いため、感染者数の状況や法人の指示を仰ぎ、今後の開催に向けて準備していきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	2		<ul style="list-style-type: none"> ・とても丁寧、親切にしていると思う。いつもお礼を言いたいと思っている。 ・保護者からの申し入れに迅速に対応してもらった。 	今後も子どもさんや保護者の方々からのご相談に対して、丁寧でスピーディーな対応を心掛けていきます。どうぞ一人で悩まず、些細なことだとあきらめたりせずにお伝え下さい。保護者の方のお力になれるような職員を目指して努力致します。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	2		<ul style="list-style-type: none"> ・何かあるたびに連絡を頂けるのが良い。 ・とても丁寧、親切にしていると思う。いつもお礼を言いたいと思っている。 	ありがとうございます。今後も引き続き、保護者の方々との意思疎通の場を大切にして、情報伝達を怠らないようにしていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19			<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の通信を楽しみにしています。 ・色々な内容で勉強になります。 	通信は子どもさんたちの普段の姿を広く知っていただくためのものです。楽しんで読んでいただけるよう一層工夫をして参ります。

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	1	2		写真の販売については予定はありませんが、年度末に子どもたちの姿をファイルしてお渡ししています。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	20			1	・無回答1 ・子どもが訓練が好きみたいです。 ・子どもと一緒に訓練をしてくれている。	毎月1回は防災訓練を実施しています。保護者の方にも実施した際にはご連絡をさせていただくようにします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20			1	・無回答1 ・子どもと一緒に訓練をしてくれている。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21			1	・最近は、特に楽しみにしています。 ・通い始めが嘘のように楽しんでいます。 ・友達との関わりを楽しみにしている。	個別支援・集団での支援それぞれ目的は異なりますが、大枠の目標は基本的には同じです。同じ遊びの中でも子どもさんそれぞれに目標は変わってきますので、新しい遊びや子どもさんの様子の変化してきた際にはその都度保護者の方と情報共有をさせていただきますたく思います。
	23	事業所の支援に満足しているか	19	3			・送迎など子どもへの支援をととても感謝しています。専門的なセラピーなど、月に2回程度あると嬉しいです。 ・とても満足しています。 ・いつも丁寧に支援していただき大変満足しています。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。